



「デジタル・エリアマーケティング実証研究」の実施について

～AR やデジタルサイネージを活用したデータの分析と活用～

横浜市は、KDDI（株）が実施する、デジタル時代のマーケティング手法が購買活動に与える影響に関する実証研究を、「I・TOP 横浜」の枠組みで支援します。

本実証研究では、AR（拡張現実）、デジタルサイネージを活用しながら、アプリケーションによって、横浜スタジアムを中心とした位置情報、購買活動情報を収集し、各種マーケティング手法が購買活動に与える影響を研究します。なお、本実証研究は内閣府「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）」の一環として実施します。

横浜市とKDDI（株）はこの研究を通じ、「I・TOP 横浜」の取組の中で、ビジネスにおけるデータ活用の推進を行い、地域経済の活性化を目指してまいります。

【実証研究概要】

今回の実証研究では、KDDI(株)が(株)横浜 DeNA ベイスターズの協力のもと、エリアマーケティングを実施し、横浜スタジアムおよび周辺の店舗様に参加いただく予定です。

（詳細裏面）

横浜スタジアムを中心に行動データを収集

動態・位置
センシング
(センサー)

購買行動
センシング
(キャッシュレス)

デジタル
サイネージ



得られたデータを分析・利活用

購買情報 × 動線 × メディア



お問合せ先

経済局新産業創造課長 高木 秀昭 Tel 045-671-3913

※本件は経済記者クラブにも同時発表しています。

裏面あり

■実証研究について

令和元年8月27日(火)より、横浜スタジアム及び周辺店舗で、同意を得た対象者の動態や購買などの行動データを分析して地域経済の活性化や安全なデータ連携の仕組みの実用化等の実証研究を実施します。

実施期間	令和元年8月27日(火)から9月下旬(予定) ※横浜スタジアムでの横浜 DeNA ベイスターズの主催試合実施日
実施エリア	関内地区：横浜スタジアム内及び周辺地域の店舗
実施概要	(1) AR スタンプラリー (9月18日～21日) AR 技術を活用して来場者がエリア内を回遊して楽しめる「AR スタンプラリー」を実施。すべてのスポットへの訪問をコンプリートした方の中から抽選でプレゼントを行います。 (2) デジタルサイネージ (8月27日～9月下旬) 横浜スタジアム内にデジタルサイネージを設置し、スタジアム内や周辺店舗のお得な情報を配信。来場者には便利でお得な情報を提供して、ショッピングやお食事を楽しんでいただきます。 (3) キャッシュレスの推進 (9月3日～9月下旬) バーコードやQRコードを使ったスマホ決済サービス「au PAY」によるキャンペーンを実施。横浜スタジアムの売店・売り子や周辺店舗において、キャッシュレスで便利でお得なお買い物体験を提供します。

(参考) 戦略的イノベーション創造プログラム (SIP)

内閣府総合科学技術・イノベーション会議が推進する、府省の枠や旧来の分野を超えたマネジメントにより、科学技術イノベーション実現のために創設した国家プロジェクトです。

このたび、「SIP 第2期/ビッグデータ・AI を活用したサイバー空間基盤技術におけるアーキテクチャ構築及び実証研究」の「研究開発項目：パーソナルデータ分野：特定エリアにおける行動データの事業者間の連携によるアーキテクチャの実証研究の実施」(管理法人：NEDO)に KDDI が採択されました。

これにより、横浜 DeNA ベイスターズと連携し、横浜スタジアムを中心に行動データをセンシングし、スタジアム及び周辺エリアにおけるエリアマーケティング施策に関する実証研究を実施することとなりました。上記の3つの取組は、SIP の実証研究の一環として実施します。